

住民が気持ちよく過ごせる道路空間に



9月13日、道守みやまネットワークに加入する建設業者や国土交通省福岡国道事務所、市の職員などが、MIYAMAX周辺の国道209号線上で清掃活動を行いました。参加した約60人は、住民の生活を支える道路に感謝を込めて、清掃活動に汗を流しました。

県民スポーツ大会で活躍



8月30日、福岡県民スポーツ大会(8月20日開催)の水泳競技で上位に入賞した上野聖奈さん(自由形女子小学5・6年生の部1位)と野田清さん(平泳ぎ80歳以上の部1位)、西田博喜さん(背泳ぎ80歳以上の部2位)が、教育長に結果を報告しました。

自分事として考える、健康づくり



8月24日、市食生活改善推進協議会が山門高校生22人に下庄ふるさと館で講習会を行いました。「全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト」の一環で行われたもので、参加した生徒からは「健康を常に考え、自分の知識を身近な人に伝えたい」という声が聞かれました。

飲酒運転の危険性を学ぶ



8月28日、瀬高自動車学校で「飲酒運転撲滅講習会」が行われ、みやま安全運転運行管理協議会の加盟企業が参加しました。飲酒運転パーチャル体験や東照寺の今泉大観副住職による飲酒運転撲滅書道パフォーマンスなどを通して、飲酒運転への意識向上が図られました。

「働く」ことの大切さを体験



9月20日、21日に高田中学校の2年生が職場体験を行いました。職場体験は消防署や図書館、市役所などで行われました。消防署で人を助ける訓練をした生徒は、「皆さんの命を守るために、いつもこんなにきつい訓練をしています」と話していました。図書館のカウンターで本の返却などの体験をした生徒は、「素早く動けず、とても難しい作業だったけど、楽しく、良い体験ができました」と話していました。
(このわだいは、市役所秘書広報課で職場体験をした2人が写真を撮影し、文章を作成しました)

家族や地域で防災を考える



8月30日、防災週間に合わせて、みやま市初の防災啓発キャンペーンが道の駅みやまで行われました。市長や市安全・安心まちづくり推進協議会、市防災士などが「いざという時のために日ごろから備えを」と声を掛け、啓発のチラシや防災グッズの笛を配りました。

親子で楽しむおもちゃ花火



9月2日、まいピア高田北側駐車場でみやまおもちゃ花火フェスタが開催されました。「線香花火長持たせぐっちょ大会」や長さ約30メートルの仕掛け花火「ミニナイアガラの滝と和太鼓の競演」などが催され、多くの親子連れが思い出づくりを楽しみました。

ドローンを市の業務に活用

☎秘書広報課 秘書広報係 (Tel 64-1501)

市では、市の魅力発信や被災状況調査、施設管理・点検など、さまざまな市の業務に役立てるため、無人航空機(ドローン)を2台配備しました。操縦技能証明書を取得した6人の職員でチームを結成し、業務に当たっています。皆様のご理解とご協力をお願いします。



みんな集まれ、山んこ川んこ



8月27日、JAみなみ筑後山川選果場前で「山んこ川んこ夏祭り」が開催されました。子どもたちによるキッズダンスやフリフリコンテストなど、たくさんの催しで盛り上がりました。会場には実行委員会が出店した露店も並び、多くの来場者で賑わいました。

矢部川でカヌーとSUPを楽しむ



7月から8月にかけて、瀬高B&G海洋センタープールと矢部川松原堰上流(筑後広域公園フィットネスエリア周辺)でカヌー教室が行われました。教室は4回開催され、延べ50人が参加。7月28日と8月23日はSUP体験も行われ、水上でのアクティビティを楽しみました。